

## 生産性向上のカギは人材育成! 中小企業が進めるべき生産性向上術



### Contents

- ・寄稿 従業員による現場づくり……………7頁
- ・事例① (株)SKB……………10頁
- ・事例② (株)熊田洋紙店……………11頁
- ・事例③ 昭和プロダクツ(株)……………12頁
- ・事例④ (株)大成モナック……………13頁

大阪工業大学 情報科学部  
データサイエンス学科  
教授 皆川 健多郎 氏



#### (略歴)

1998年、大阪工業大学大学院博士後期課程単位取得、同大学工学部経営工学科助手・講師、准教授を経て現職。専攻は経済性工学、IE。博士(工学)。これまで1,000回以上の現場訪問を行い、理論と実践の融合を現場視点で考える専門家。

### 寄稿

## 従業員による現場づくり

大阪工業大学 情報科学部 データサイエンス学科

教授 皆川 健多郎 氏

「従業員による現場づくり」が  
企業競争力を決める

総務省統計局の人口推計によれば、2026年4月1日時点の日本の人口は1億2286万人であり、前年同月比54万人(0.44%)の減少となっている。この減少傾向は今後

も続き、将来的には現在の8割規模に縮小すると見込まれていることから「8掛け社会」ともいわれている。人口減少は労働力不足を恒常化させ、企業は従来の延長線上では事業を維持できない局面に直面しており、限られた人員で高い成果を生み出すための生産性向上への取り組みは待ったなしといえる。

一方で、デジタル技術の進展は急速であり、DXの取り組みはまだまだ道半ばではあるが、年々浸透している。AIは生成AIのChat GPTの登場以降、我々にとって身近な存在となり、様々な現場にも広く普及し、既に多くの企業が活用

この続きは会員事業所  
のみご覧いただけます